

20170303 連合神奈川女性委員会 3.8 国際女性デー

日 時 2017年03月03日(金)
場 所 かながわサポートセンター
内 容 「これからの女性の働き方」 労働経済ジャーナリスト 小林 美希 氏
出席者 磯崎 律子(ヤマト運輸労働組合横浜支部)
角野 絢 (ヤマト運輸労働組合横浜支部)
柳 彩咲子(丸全昭和運輸労働組合)
高市樹里亜(丸全昭和運輸労働組合)
岩井 彩織(全日通労働組合神奈川支部)
浜浦このみ(全日通労働組合神奈川支部)



この度、「3.8 国際女性デーかながわの集い」に参加し労働経済ジャーナリストの小林美希氏による「これからの女性の働き方」について聴講してまいりました。講義は、働く女性を取り巻く社会問題やマタニティハラスメントの事例を取り上げ、実態を紹介するものでした。女性活躍推進法が成立してから二年が経ちますが依然として女性の非正規雇用は多く、家庭との両立に苦しんでいるように感じました。小林氏によれば、仕事をしている妊婦は非就労妊婦と比べると流産率が高く、身体的・精神的に負担が大きいためやむを得ず退職を選択するケースもあるようです。また、妊娠した派遣社員の女性を「不良品」と罵り、使い物にならないので辞めさせたいというマタハラが発生している実態を聞いて、将来がとても不安になりました。近年は長時間労働がクローズアップされていますが、常態化していた問題を改善する契機となっています。労使共に働き方について見直し、理想と現実の格差が縮まっていくことを期待したいと感じる講義でした。

丸全昭和運輸労働組合 柳 彩咲子

正社員であれ非正社員であれ、仕事とプライベートを両立するのは、なかなか大変なことであるという認識はありましたが、自分の周りには、小林さんが取材された方々のような立場(非正社員で妊娠解雇された、育休断念等)にいる人がいなかったの、あまり実感が無いというのが正直なところでした。いわゆる大企業とよばれる会社のほうが働きづらそうで、自分の会社の労働環境はとても恵まれていたということに気づきました。

終わりの方で夫婦関係の話が出ましたが(夫に死んでほしいと思う妻の話)、無理に結婚する必要はないなと思いましたが、お金があればすべて解決するようにも感じました。

丸全昭和運輸労働組合 高市 樹里亜